

Azul Lane  
unofficial  
book  
Hood story  
R18  
for adult only



Secret Garden  
ヒミツの花園



# はじめのあとがき

！注意！

ネタバレを含む時があったりなかったりなので  
最後に読まれることをおすすめします

こんにちは、カグユツです。  
この度は「ヒミツの花園」を手にとっていただき  
ありがとうございます。

夏コミでは元々予定していたフッド本「親愛なるあなたへ」を  
発行予定でしたが、時間的にどうしても厳しくなったため、  
プロローグ本を今回発行することにしました。

実はストーリーではなくこのような日記調の形の本も出して  
みたかったので、この機会を借りて作ることにしました。  
実際作ってみるとなかなか難しいものですね！でもかなり楽  
しかった！！後悔はしてない！！

フッド本は作りたいと前々から考えていて、お相手も実は速攻  
決めてたんです。そう、おじさま指揮官を！年の差ラブを書いて  
みたくて、そこでフッドが当てはまっちゃったんですよ。

今回はプロローグ的なものなので、この指揮官のストーリー感  
は少ないかもしれませんが、この本を期に次回本編描きたいと  
思いますので、ぜひ楽しんでいただけたら嬉しいです。

## ～登場人物～



フッド

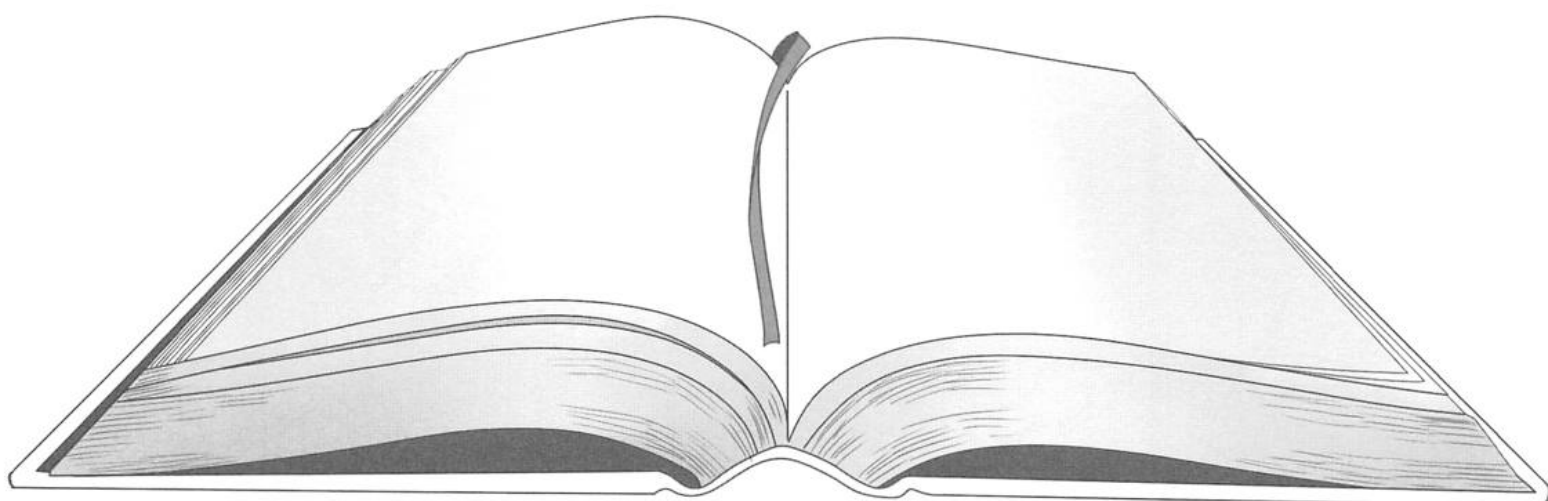
このお話のメインさん。  
指揮官のことを信頼し  
精一杯尽くしている。



指揮官

中年指揮官。  
口数の多い方ではない。  
周りからは少し怖がられている

これは  
私と指揮官様のことを綴った  
日記のお話



今日は指揮官様から  
アフタヌーンティーへ  
誘われましたわ

でも、指揮官様を見ていたら  
どうしても触れたくなり

気持ちよくなっていたがたくて  
一生懸命ご奉仕しました

指揮官様の penis は  
とても熱く大きく膨らんで

口に含み、手を使って  
そのまま激しく  
絞り上げるように……すると

私の口では  
受け止めきれないくらいの  
精子を噴きだしましたわ

秘書艦としての  
“奉仕”を理由に  
求めてしまいました

指揮官様には  
もっともっともっと……  
気持ちよくなってほしいの



○月▲日

今日は職務の間の一息にご奉仕を致しました

かなりお疲れになっていたようなので私のおっぱいで包んで差し上げましたの

優しくマッサージするようにしごき続けるとあっという間に固く膨らんで

おっぱいを動かし続けると指揮官様も少し息が荒くなつてそのまま果ててしまいました

やはりお疲れになっていますのね

次はどういう形で癒やして差し上げようかしら……



翌日

いつもCoolで  
整然たる指揮官様

指揮官様は  
いつも朝が早く  
私が起こすことは  
ほぼありませんの

そんな彼が  
今日はめずらしく  
寝坊したのですわ

カ  
カ  
カ

寝顔を見れるとは  
思っていないくて……  
なんだかドキドキしました

髪を下ろしている姿  
こんな無防備に寝ている姿

そして普段とは違う  
少し幼く感じるような寝顔

す……

しっかりこの目に  
焼き付けておきますわ

こんな指揮官様を  
見る機会なんて  
今後いつあるかわかりませんし



×月□日

今晚は君に触れない  
自分でやってみるんだ  
さあ、魅せてくれ

今日は指揮官様から  
強制命令が出ました

自慰なんて…  
淑女がすることではないと  
思いますけど

何故でしょう…  
指揮官様が見てると  
思うだけで

手が止まらないの  
奥が疼いて…  
きつと欲しがっている

指揮官様が見てる…

こんな恥ずかしい姿のわたくしを…!!

アアッ

私はこの目に  
見つめられると…





休憩中、指揮官様に  
いきなり手を引かれ  
部屋に連れ込まれたのです

確かに  
この前の自慰から  
奉仕はしていません  
でした

指揮官様も  
私を求めて  
下さっていたのかしら

…なんて  
都合のいい解釈ですわね

壁際に立たされると  
ストッキングを破かれて

そのまま後ろから  
激しく突かれ続けました

はな  
はな  
はな

はな

あ

ア

い

ア

し

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん



キスする度に  
緩く...そして激しく  
突かれて

何度絶頂しそうに  
なったかわからないほど

今日の指揮官様は  
とても優しく感じました

対面座位で  
キスをしながらの  
甘いセックス

ああ...  
私も指揮官様に  
何かしてあげたいわ

彼の熱を  
直接感じなくなった私は  
ゴムを付けずに出して欲しいと  
お願いしてしまいました

勿論、整然たる彼は  
悩んでいたようでしたが

今日は安全な日  
ですから  
大丈夫なのです

...

ああ

ぐわ

あぁ  
ぐわ  
ぐわ  
ぐわ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ

少し迷っていたようですが私の気持ちも吸んでくださったようです

指揮官の penis はとても熱くて

それが入ってきたとき激しく中で動く快感に

全身が沸騰してしまいそうになるのではないかと思ってしまうくらいに感じたのです

その日はそのまま何度も愛し合い

最後にたくさん種を私に注いでくださいました



私の日記は  
ここまでですわ

これからも  
指揮官様に尽くして  
参りますが

それは  
また別のお話で…

\*タイトル： ヒミツの花園  
\*発行日： 2018年8月12日(2版)  
\*発行： いちごぱんつ  
\*発行者： カグユヅ  
\*印刷所： 太陽出版様

- HP&SNS -

\*e-mail： 19x4@kaguky.com  
\*URL： <http://ichipan.kaguky.com/>  
\*PIXIV ID： 5287  
\*Twitter： @kaguyuzu

この本は成年向です。  
18歳未満の方の購読・閲覧はご遠慮ください。

また、無断での複製・複写は禁止しております。  
Web上へのアップロードや配布行為も  
行わないようご協力ください。



Comic Market 94  
2018.Summer